



巻頭言

技術士制度の改善

技術士の制度、その普及の拡大と活用については、科学技術庁は技術士審議会の意見を聴き、更にホームページに公開して国民一般の意見を求め、あれこれと集約した改善法律案を今時国会（遅くとも次の国会）に提出して成立を計らんとしている。

報告案に盛られている考え方は、

「技術に携わる者の備えるべき要件」として実務能力だけでなく社会や公益に対する責任を活動の前提とする高い職業倫理を備えること、「国際的な相互承認への対応」を円滑にすること、「質が高く、十分な数の技術者の育成、確保」をすべく、技術士が生涯、研鑽を重ねることの重要性、すなわちCPD（Continuing Professional Development）の重要性を説き、多くの技術者や学生が技術士を目指そうとするものにしなければならないとしている。更に「有資格者の普及と活用の必要性」を謳い、「数の伸張」を目指している。趣旨には抗すべき何物もないにしても、審議会その他技術士以外の方の厳しい、或いは異なった考えもあり、成り行き、具体的内容には十分に注目しなければならない。（稲本 渡）

目次

巻頭言	稲本 渡	1
理事会報告	加藤 薫	2
交歓会案内・業績発表年次大会		3
近畿産官学と技術士との合同セミナー	山田 俊満	4
展示会の状況	加藤 薫	4
付属見学会	稲本 渡	5
講演・パネルディスカッション		6 ~ 9
土壌・地下水汚染の調査と修理	安ヶ川 常孝	10 ~ 11
ISO/DIS 9000/全文対訳の著作権について	中條 鐘一	12 ~ 13
緑の仕事	石橋 まゆみ	14
繊維技術物語	谷本 義雄	15 ~ 16
「生み出し」と全身の喜び	坂本 慶二	16 ~ 18
行事案内および報告・編集後記		19 ~ 20